

オリエンタル系ユリの球根肥大状況について(7月31日現在)

平成28年8月3日
経営普及課
(農業革新支援担当)

新潟県農業総合研究所園芸研究センター、中山間地農業技術センター、高冷地農業技術センターにおけるオリエンタル系ユリ球根定期観測結果から、今年の球根肥大及びノーズ形成状況についてのデータを紹介します。

1 供試球根

(1) 調査品種 : カサブランカ (2015年オランダ産TYS球根)

(2) 球根サイズと前年との比較

供試 年度	球根 サイズ	球根重 (g)	球周 (cm)	りん片 (枚数)	葉数 (枚)
2016	14/16	47.3	16.2	25.7	35.8
2015	14/16	41.8	15.2	24.3	35.2

注1) 同一ロット球根を供試した。

注2) データは園芸研究センターで調査した。

2 耕種概要

観測場所 (所在地)		園芸研究センター (聖籠町)	中山間地農技センター (長岡市川口)	高冷地農技センター (津南町)
栽植距離		20×20cm 4条植	20×20cm 4条植	20×20cm 5条植
定植日 (前年度定植日)		4月1日 (4月8日)	4月19日 (5月25日)	4月27日 (5月2日)
施肥 N-P ₂ O ₅ -K ₂ O (kg/10a)	基肥	15-15-15 (4/1)	14-12-13 (4/10)	19-15-19 (4/26)
	追肥 (実施日)	5- 5- 4 (6/2)		3-4.2-3.6 (6/30) 3-4.2-3.6 (7/20)

3 生育状況

- (1) 開花盛期は、園芸研究センターで7月11日(前年7月17日)、中山間地農技センターで7月22日(前年7月31日)、高冷地農業技術センターで7月31日(前年8月3日)と、いずれのセンターとも早まった。
- (2) 定植後は高温傾向で降水量に恵まれ、生育は順調に推移している。供試した球根重の違いもあるが、草丈・葉数・輪数は前年を上回っている。
- (3) 球根肥大はいずれのセンターでも前年より良好で、園芸研究センターと高冷地農業技術センターでは新球の肥大が進んでいる。

4 具体的データ

添付ファイル「L20160731data」及び図1～図6を参照

※ 次回の生育情報は、9月1日調査のユリの球根肥大及びノーズ形成状況(第2報)をお知らせする予定です。



図1 生育状況（左：ほ場、右：地上部、園芸研究センター）



図2 球根肥大状況（左：球根、右：新球、園芸研究センター）



図3 生育状況（調査株、中山間地農業技術センター）



図4 球根肥大状況（左：球根、右：新球、中山間地農業技術センター）



図5 生育状況（ほ場、高冷地農業技術センター）



図6 球根肥大状況（左：球根、右：新球、高冷地農業技術センター）